

根木山レンジャーの巻 琵琶湖河川レンジャー レポート

野洲川の樹木伐採（公募） 休日試行と参加者交流

住民による樹木伐採

野洲川では、河川管理者による樹木伐採の公募が行われています。これは、河道内に繁茂する樹木について、伐採しようとする人を募集し、許可手続きを経て、住民による樹木伐採を進める取り組みです。

今年度は、応募された住民から「休日に作業したい」と要望する声が多かったことから、休日試行が行われることになりました。

私は、河川レンジャーとして、昨年度から、樹木伐採を行う住民支援を行ってきました。今回は、河川管理者と協力して、休日試行において、参加された住民の伐採作業の支援を行うとともに、参加者間の交流会の進行役もつとめました。

R 参加者間の交流サポート



R 作業支援



当日は、野洲川左岸、川田河川公園から落差工にかけてのエリアで、8組の住民が参加されて、にぎやかな作業現場になりました。

午前中は、キノコ栽培用の原木として樹木がほしいと参加された男性2人組が「立木の伐採は初めて」ということで、作業のお手伝いをさせてもらいました。手持ちのノコギリで交代しながら、がんばって作業されて、しっかり目当ての樹木を伐採されました。

参加者の声

また、参加者交流会では、短い時間でしたが、8組の参加者のみなさんが、作業の手を止めてご参加くださり、なごやかな雰囲気のもと、意見交換することができ、貴重なご意見をうかがうことができました。参加者から出た意見をいくつかご紹介いたします。

河川レンジャー
活動支援室

2019年3月発行
VOL. 37



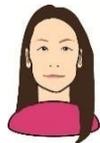
まず、「休日に作業できるのはいへんありがたい」という声が多くありました。平日は、お仕事されている方もあり、休日に伐採作業をしたいというニーズは確実にあるようです。

また、「一人で作業していると心細いので、今日のように、みなさんと一緒に作業できると安心できる」と言った声もありました。たしかに、危険を伴う立木の伐倒作業ですから、そうした心情もよくわかります。その他、参加者間での技術的な助けあいや、マナーの共有などを求める声も聞かれました。

今回、うかがったご意見をもとに、管理者と協議しながら、住民による樹木伐採が進むように、住民と行政のつなぎ役である河川レンジャーとして活動していきたいと思えます。



河川レンジャー活動紹介・レンジャー名・“活動テーマ”・進行している活動



北村レンジャー

“川と共存してきた
「地域の記憶掘り起こし」”

川と地域の関わりを残していくために、昔の風景写真の情報を集めたり、ヒアリングをしています。外畑、天ヶ瀬地区での活動の成果は冊子にまとめてあります。川にまつわる写真や思い出の情報を、是非お寄せくださいね！



水上レンジャー

“住民と行政がともに考える
川づくり”

～野洲川河口部ヨシ帯調査～

立命館守山中学校の生徒の皆さんが、野洲川河口部で、琵琶湖河川事務所と共にヨシ帯等調査を行っています。今年は従来の継続調査に加え、新たな活動として繁茂しているヤナギの抑制対策の実験を生徒達を中心に実施しています。地域の学校の思いと行政の思いを繋ぎ「住民と行政がともに考える川づくり」の一歩となるように活動を進めています。



近藤レンジャー

“瀬田川をプラットフォーム
とした交流づくり”

私を含め、多くの大学が活動拠点としている瀬田川で大学間だけでなく、地域住民の方々なども含めた交流の場をつくり、共同作業ができる環境づくりに励みます。よろしくお願ひします。

活動拠点（問い合わせ先）

水のめぐみ館ウォーターステーション琵琶内 河川レンジャー活動支援室
〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-2-2 TEL077-536-3520 FAX077-536-3530
E-mail : r-manager@water-station.jp URL : <http://www.water-station.jp/ranger>
FB : <http://www.facebook.com/BiwakoRanger>

フェイスブックで活動を広報しています！

琵琶湖河川レンジャーFacebookページ
<https://www.facebook.com/BiwakoRanger/>